

第二十一回帝國議會 院 郵便貯金法案委員會會議錄(速記)第二回

會議

明治三十七年十二月二十三日上午十時二十三分開議

出席委員左ノ如シ

福島 宜三君

高木

龍藏君

荻野

芳藏君

小田 文行君

神戶

松之輔君

三輪

信次郎君

出席政府委員左ノ如シ

遞信次官 田 健治郎君

遞信省通信局長 小松謙次郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

郵便貯金法案

○委員長三輪信次郎君 是ヨリ開會致シマス

○福島宜三君 一寸二ツばかり御尋ネテ致シタイ第一ハコノ前モ御尋ネテ致シタイデアリマスガ貯金ノ便利ハカリヲ實行スルヨリモ拂出ノ方ニモ便利ヲ與エテハ如何デス第二ハ即時拂ノ必要ハ獨リ小額ノミデアリマセヌカラ今少シ即時拂ノ範圍ヲ廣メテ大額ノ拂出ニモ及ボシタル如何デス

○政府委員小松謙次郎君 甲ト言フ郵便局ニ預ケタ貯金ヲ獨リ甲ナル郵便局ヨリ拂出スコトヲ得ルト言フ止ラズ乙ナル郵便局ヨリモ將タ丙ナル郵便局ヨリモ拂出スコトヲ得セシムルノガ郵便貯金ノ特色デアリマスカ第一郵便貯金ハ預入ノ誰タルコトヲ確認スルノ必要ガアルノデアリマスカラ隨テ拂出ノ上ニ十分ノ便利ヲ與フルコトガ出來ナイノデアリマス外國ナドデハ預入ノ誰タルヲ確認スル爲メ通帳ノ表紙ニ其人ノ寫眞ヲ張り付ケルト言フ様ナ例モアル位ヒデアリマス兎ニ角ソウ言フ譯デスカラ拂出ヲ預入ト同一ノ便利ノ下ニ置クコトハ出來難ヒノデアリマス第二ニ拂戻ノ金額ヲ擴張シテハ如何デアルカトノ御尋ネデアリマスガ是レハ政府ニ於テモ十分斟酌ラスル積リデアリマス幾何以上ハ拂戻ガ出來ヌト言フ精神デハナイノデアリマス

○荻野芳藏君 二十條ニハ催告ノ方法ガ設ケテアリマスモ第十八條ニハ別ニ催告ヲスル義務ヲ認メテ居リマセヌガ是レハ毫シク矛盾ノ様デスカ如何デセウカ

○政府委員小松謙次郎君 實際ニハ別段大ナル弊害モアリマセヌガ權利ノ消長ニ直接ノ關係アル規定デアリマスカラ尙ホ十分此法以外ニ於テ便宜ノ方法ヲ案ズル積リデアリマス

○福島宜三君 只今荻野君ヨリ御質問ノアリマシタ第十八條ノ規定デアリマスガ私ハ預入ノ權利保護上同條ノ通帳ノ提出ナキ場合ニ於テハ「ノ下ニ」郵便官署ハ其預入ニ對シ郵便貯金ニ通帳ノ提出又ハ預入金ノ處分ヲ爲スヘキ旨ヲ催告シ其催告ノ日ヨリ六十日以内ニ通帳ヲ提出セス又ハ預入金ノ處分ヲ申出デサルトキハ「ノ數十字ヲ加エタイト思ヒマスガ如何デセウ

○小田文行君 私ハ福島君ノ修正說ニ反對致シマス第二十條ニ催告ノ規定ガ設ケテアルノハ本法實施前ノ事柄ニ掛ルガ故デアラウト思ヒマス第十八條ハ既往ノ事柄ニ關

係ナク本法施行後ニ起ルヘキ事項ヲ目的トスルノデアリマスカラ二十條ノ如キ老婆的條項ヲ要セヌカト存ジマス一旦法律トナテ顯ハレマス以上ハ其法ノ示ス所ニ從フベキハ勿論ノコトデアリマシテ其ノ是レニ從ハザル爲メニ權利ノ失墜ヲ來タスガ如キハ素ト自

己ノ過失ニ原因スルモノト見ナケレバナラヌト思ヒマス故希望トシテハ福島君ノ說ニ贊成致シマスガ法文ノ修正トシテハ同意スルコトガ出來難イノデアリマス

○神戶松之輔君 私ハ福島君ノ修正說ニ贊成ヲ致シマス其理由ハ第二十條トノ權衡上及ビ老後ノ安全ヲ謀ルガ爲メ怪シキ銀行ナドニ預ケルヨリ郵便貯金ガ最モ確實ナリト信シテ郵便貯金ヲ爲シタル預入ノ意思ニ徴シテ斯ク修正ヲ望ム次第デアリマス

○委員長三輪信次郎君 夫レデハ採決ヲ致シマス福島君ノ修正ニ御同意ノ方ハ舉手ヲ願ヒマス

○委員長三輪信次郎君 多數デアリマスカラ福島君ノ修正ハ可決サレマシタ其他ニ就テハ原案通りニシテ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長三輪信次郎君 夫レデハ第十八條ノ修正バカリデ他ハ原案ノ通り可決ニナリマシタ夫レデハ是レデ散會ヲ致シマス

千時午前十一時五分

明治三十七年十二月二十四日印刷

明治三十七年十二月二十五日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局